

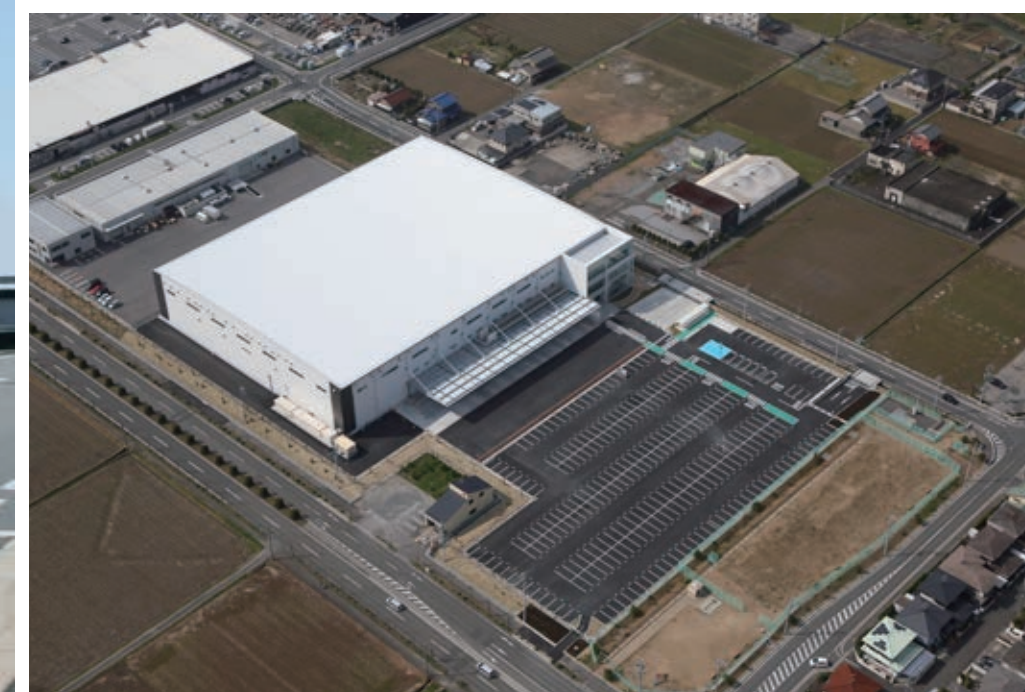
トムス 岐阜本社オペレーションセンター

岐阜県岐阜市

総合監修／フクダ・アンド・パートナーズ
設計／守谷商会一級建築士事務所
施工／守谷商会
TOMS GIFU Operation Center
MORIYA CORPORATION



北西面外観



上/北面外観夜景 下/空撮

設計主旨

トムス株式会社は、Tシャツをはじめとしたプリントブルウェアの衣料品製造、企画、販売を行っている繊維商社である。トムス株式会社岐阜本社オペレーションセンター（以下、本施設）は、岐阜県岐阜市の柳津町流通センター内で、3拠点に分散していた加工・仕分け・発送・オペレーション業務を1カ所に集約することで、全国へより一層のスピーディーな対応を可能にし、更なる事業拡大を図るために計画された施設である。柳津町流通センターに隣接した敷地を計画地とする本施設は、建築面積を約9,500㎡とする地域最大級の施設である。

一 配置計画

敷地面積約21,000㎡に延床面積約23,600㎡の3層の施設1棟を計画。建物を敷地南側

へ配棟し、敷地北側に従業員駐車場を290台以上確保することにより、北側に隣接している公園および住宅への景観や騒音対策に配慮した。さらに、西側市道に配置した車両出入口においては、トラックと一般車両とで別々の専用出入口を設けることにより、車両運行の安全面と運用の利便性にも配慮した動線計画としている。

一 建築計画

本施設は、1・2階の物流業務を3PL業者が行うため、半製品（Tシャツ類）の入出荷業務を行う約9,300㎡の物流エリアとプリンティング加工を行う約6,800㎡の工場エリアに分ける動線計画とした。

1階の物流エリアには、天候の影響を受けないよう16mの大庇のあるトラックバースを配置し、スピーディーな荷役作業ができるよう

配慮した。1・2階の吹抜けで構成された半製品置場は、梁下有効8.9mを確保し、11.0m×11.0mの柱スパンを採用することで荷物の保管効率を高めている。

さらに、従業員の施設に対する愛着心が深まることを目指し、『働きやすい施設』を実現するため、旧施設で課題となっていた作業環境の改善に注力した計画としている。

物流エリアでは、夏季の労働環境への配慮として、エリア全体の空気を冷やす空調機を導入。加えて、3.4m高の天井に大型天井扇を設置した。これは、天井扇の微風により汗が蒸発する際に熱を奪う気化熱効果により「体感温度」を下げ、室内温度が高くても快適さを得られるよう工夫したものである。このミキシング案の採用により、クーラー病対策とランニングコストの25%を実現した。

工場エリアでは、高い熱を発する印刷機器が多いため、その熱対策を行った。商品品質への影響も加味したあらゆるシミュレーションを行い、空調機の設置台数・設置位置・天井の高さ・下がり壁を配置した。それにより最善な空気の流れを作り出し、さらに熱を発する機器エリアの従業員に対してはスポット空調を設置し、働きやすい労働環境と省エネルギー効果を実現した。

外観は、取扱商品に求められる清潔感を表現するために白を基調とし、自然の多い周辺環境との調和も図った。コーナー部分にはブラックシルバーを配色し、建物全体の輪郭を引締めてスタイリッシュさも演出している。企業の顔となるエントランス部分は、『ガラスの箱』をイメージしたデザインを採用し、企業の透明性を表した。基壇部と上層部のライン

に段を設けることにより大きさの異なる立方体の組み合わせを表現し、軽快感を演出した。エントランスにある階段を昇った商談エリアには、メイン商材となる各色のTシャツを虹のように展示している。壁面や天井に曲線を用い、商談中にクライアントが商品を選定しやすいような角度から見えるような空間をつくった。鮮やかなTシャツは屋外からも垣間見ることができる。

エントランスホールのライティングは、カーテンウォールの側面を照らし、天井面の反射を利用することで、柔らかな光を放つガラスの箱となるようにした。

3階の事務室は、仕切りのない空間とし、各部署が隔たりにくくコミュニケーションがとれるよう配慮を行った。また、エントランス上階のガラス面側に配置することにより、どこか

らでも大きな窓を通して外の風景が見えるよう配慮し、癒しの空間としての機能も併せ持った事務室とした。

2階休憩室は、クリエイティブに働く社員に活力を与える空間をコンセプトに、都会的な落ち着いた雰囲気を出した。壁まわりにはソファ席を配置してゆったりくつろげる場所を提供し、中央にはテーブル席を配置して必要席数を確保している。さらに、社内イベントなどでの利用も想定したプロジェクター設備を設けており、多種多様な利用形態に対応可能な空間となっている。

最後に、この新センターが働く人々にとって誇れる施設となり、多くのお客様に対して高品質なサービスを提供できる施設となることを願っている。（西村 正/守谷商会）



2階商談エリア



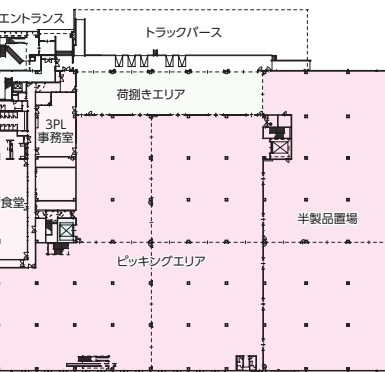
1階エントランス



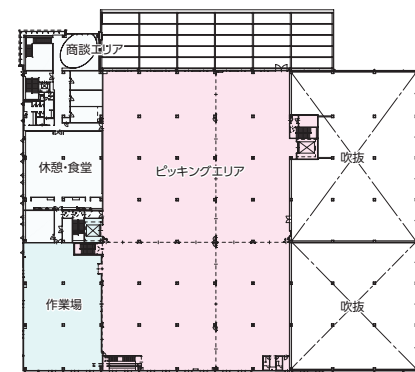
トラックバース



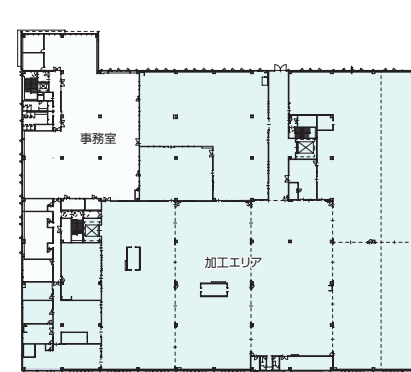
2階休憩・食堂



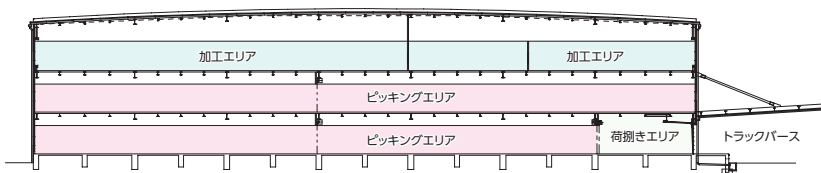
1階平面図 縮尺 1/2,000



2階平面図



3階平面図



断面図 縮尺 1/1,000



1階半製品置場



上/1階ピッキングエリア 下/2階ピッキングエリア



3階加工エリア



3階加工エリア



3階事務室

トムス 岐阜本社オペレーションセンター データ

所在地 岐阜県岐阜市柳津町上佐波西6-13-4
主要用途 工場、配送センター
建築主 トムス株式会社
総合監修 フクダ・アンド・パートナーズ
 担当/山本悟史、藤井政夫、湯川 聡、森本和夫
設計・監理 守谷商会一級建築士事務所
 担当/総括：西村 正 建築：西澤 哲、渡辺岳志
 構造：栗林 久、中島喜弘 設備：小尾口浩明
 環境・省エネ：松林 学 監理：西村 正、西澤 哲、中島喜弘、小尾口浩明
施工 守谷商会
 担当/戸井克実、北條貴之、木内康之、鈴木智之、川上祥子、武井 晃
設計期間 2014年10月～2015年3月
工事期間 2015年 4月～2016年1月
【建築概要】
敷地面積 17,731.06㎡
建築面積 9,474.47㎡
延床面積 23,615.21㎡
工場・倉庫総面積 18,673.79㎡
事務所総面積 4,894.17㎡
建ぺい率 43.60% (許容60%)
容積率 108.55% (許容200%)
構造規模 S造 PHC杭、PRC杭 地上3階
床耐荷重 工場：7,000N/㎡ 倉庫：15,000N/㎡
軒高 17.925m
階高 5.500m
天井高さ 3.000、3.400、3.500m
主なスパン 10.00m×11.00m
構成 1階トラックバース高床式
配置計画 敷地南側に建物、北側に従業員駐車場を配置、

西側にそれぞれ大型車両用と乗用車の出入口を設置
トラックバース数 12台
駐車台数 295台
想定最大車両サイズ 12t、大型ウイング車
プラットフォーム 高さ1.10m ドックレベラー5台付
 奥行き：4.00m
ドックシェルター 無
トラックヤード庇奥行 16.00m
道路幅員 東側道路25.00m、西側道路10.00m
地域地区 指定なし、地区整備計画区域内
【設備概要】
電気設備 受電方式/高圧受電60Hz6,600V3φ3W 変圧器容量/電灯：100kVA×1、300kVA×1 動力：200kVA×1、750kVA×2、500kVA×3 予備電源/なし
空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプマルチエアコン 熱源/電気
衛生設備 給水/受水槽+加圧給水ポンプユニット 給湯/電気温水器、ガス給湯機による局所給湯 排水/汚雑合流方式、雨水分流
防災設備 消火/屋外消火栓設備、屋内消火栓設備、消火器、消防用水 排煙/避難安全検証法適用により免除
 その他/自動火災報知設備、誘導灯
昇降機 乗用15人×1基、荷物用3.0t×1基、荷物用3.5t×1基
特殊設備 大型扇風機(ビッグアスファン11台)、車椅子用段差解消機
環境対策 敷地内緑化、LED照明、全熱交換器、ペアガラス、日射ブラインド
【主な外部仕上げ】
屋根 溶融アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 (t=0.8、0.6) 二重折板葺き断熱工法
外壁 フッ素樹脂塗装断熱サンドイッチ金属パネルt=50
外構 アスファルト舗装(T-2)一部浸透性舗装、半たわみ

舗装、耐重アスファルト舗装
建具 アルミサッシ、アルミオーバードア
【主な内部仕上げ】
仕分け場 床/シリカ系コンクリート浸透性表面強化材 仕上げ 壁/外壁材裏返し、ガラス繊維不織布入石膏ボード 天井/化粧PB9.5
事務室 床/タイルカーペットt=6.0 (帯電防止ナイロン製) OAフロアH=150 壁/PB12.5+不燃ビニルクロス 天井/不燃化粧PB9.5
撮影/鏡リフレクト
協力会社

電気設備工事	新生テクノス
機械設備工事	浦安工業
昇降機設備工事	守谷輸送機工業
昇降機設備工事-外壁工事	豊島
橋・土工工事	木村建設
杭工事	ジャパンパイル
鉄骨工事	T・A・G
鉄骨階段工事	横森製作所
鉄筋工事	双和鉄筋
型枠工事	加向建設
ハイバースタッド(仮設コンクリート撤去)	太平洋マテリアル
金属工事	トスコム
オーバードア工事	金剛産業
金属製建具工事	文化シャッター
アルミ製建具工事	YKK AP
ガラス工事	日硝
左官工事	稲沢業務店
内装仕上工事	クマザキ
屋内消火栓屋外消火栓デザイン消火栓	横井製作所